

平成30年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市地方卸売市場大畑町魚市場		
指定管理者	団体名	大畑町漁業協同組合	
	代表者	代表理事組合長 田高 利美	
	所在地	むつ市大畑町湊村191	
指定期間	平成30年4月1日 ～ 平成33年3月31日 (3年間)		
指定管理業務の概要	生鮮魚介そう類、冷凍、塩干魚その他の加工水産物の卸売業務		

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収 入 合 計 (A)	10, 232	10, 307	75
うち利用料金額	10, 232	10, 307	75
うち指定管理料			
支 出 合 計 (B)	9, 718	5, 722	▲3, 996
うち人件費	90	20	▲70
収支差 (A-B)	514	4, 585	4, 071
市への納入金			
計画額と比較した実績額の増減理由	1年目で施設の経費が計画より少なかった。		

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
利用者数		3, 300	25, 320	22, 020
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有・無)				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事 業 名	利 用 者 数	収 入	支 出
鮮魚BOX	27	325	264
直販売上	300	534	107

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価（A：優良 B：適正 C：要改善）

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	A	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	A	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	A	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	C
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	A	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	A	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	A	B
④利用料金の收受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	A	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	A	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	A	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	A	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	A	B

6. 指定管理者総合評価 ㊤自己評価をCとした項目についての改善策も記載すること。

収入に関しては、計画どおりで、支出は施設が新しく経費がほとんどかからなかった。2年目以降は、保守修繕費等経費が増えることが予想されるので今まで以上に経費削減に努めていきたい。

7. 市の所管課総合評価 ㊤市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

依然として水揚げが減少し厳しい状況が続いている中、施設に関しては効率的に運営ができたことにより、経費の削減が見られるなどある一定の評価はできる。

また、自主事業の企画・実施については、効果があまり得られなかったため、再度、口頭で企画内容等の検討を行うよう指導し、顧客の獲得に努め積極的な営業、広報活動を実施するよう指導を行った。併せて、職員のスキルアップのための研修会への参加及び実施に努め、施設の適正な維持管理に努めてほしい。